

U.S. Indicators

米国 米製造業部門の好調持続を示す（17年12月 I S M製造業景気指数）

公表日：2018年1月3日（水）

～受注・生産の拡大ペースが一段と加速することを示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

I S M製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
16/12	54.5	60.3	59.4	52.8	47.0	53.0	49.0	65.5	56.0	50.5
17/01	56.0	60.4	61.4	56.1	48.5	53.6	49.5	69.0	54.5	50.0
17/02	57.7	65.1	62.9	54.2	51.5	54.8	57.0	68.0	55.0	54.0
17/03	57.2	64.5	57.6	58.9	49.0	55.9	57.5	70.5	59.0	53.5
17/04	54.8	57.5	58.6	52.0	51.0	55.1	57.0	68.5	59.5	55.5
17/05	54.9	59.5	57.1	53.5	51.5	53.1	55.0	60.5	57.5	53.5
17/06	57.8	63.5	62.4	57.2	49.0	57.0	57.0	55.0	59.5	54.0
17/07	56.3	60.4	60.6	55.2	50.0	55.4	55.0	62.0	57.5	56.0
17/08	58.8	60.3	61.0	59.9	55.5	57.1	57.5	62.0	55.5	54.5
17/09	60.8	64.6	62.2	60.3	52.5	64.4	58.0	71.5	57.0	54.0
17/10	58.7	63.4	61.0	59.8	48.0	61.4	55.0	68.5	56.5	54.0
17/11	58.2	64.0	63.9	59.7	47.0	56.5	55.0	65.5	56.0	54.5
17/12	59.7	69.4	65.8	57.0	48.5	57.9	56.0	69.0	58.5	57.5

（出所）I S M : the Institute for Supply Management

製造業景気指数は59.7 と前月比1.5%ポイント 上昇

17年12月のI S M製造業景気指数（季節調整値）は、59.7と前月比1.5%ポイント上昇し、市場予想の58.2を上回る高い水準を維持、製造業部門の好調持続を示した（筆者予想58.6）。ドル高の影響を受けながらも、国内需要の堅調さ、原油価格の上昇による石油掘削リグの稼働数の増加（ボトムからの水準切り上げ）、世界的な需要の拡大等を背景に、米国製造業部門の活動は一段と活発化している。

総合指数を構成する項目では、雇用が低下したものの、重要な新規受注や生産のほか、入荷遅延、在庫が上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用（前月比▲0.54%p）が押し下げ寄与となった一方、新規受注（前月比+1.08%p）、生産（前月比+0.38%p）、在庫（前月比+0.30%p）、入荷遅延（前月比+0.28%p）が押し上げ寄与となった。

また、新規受注が内外需の堅調さを映じて高い水準で推移しており、製造業部門が良好な状態を当面維持することを示唆しているうえ、新規受注、生産が高い水準を保つなかで、雇用も高水準を維持している。さらに、需要が強いなかで在庫が50を下回り減少を示していることは、先行きの受注拡大に繋がり易い。以上より、12月のI S M製造業指数はヘッドラインの数字以上に良い内容だったと判断される。

一方、インフレ面では、新規受注、生産の拡大、在庫の縮小などを背景とした入荷遅延の強まりや商品市況の上昇によって仕入価格は高い水準を維持しており、川上でのインフレ圧力が強まっている。

全18業種中16業種が 拡大した

総合（全18業種、下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）で拡大した業種は、紙製品、一般機械、輸送機器、コンピューター・電子機器、非鉄、プラスチック・

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

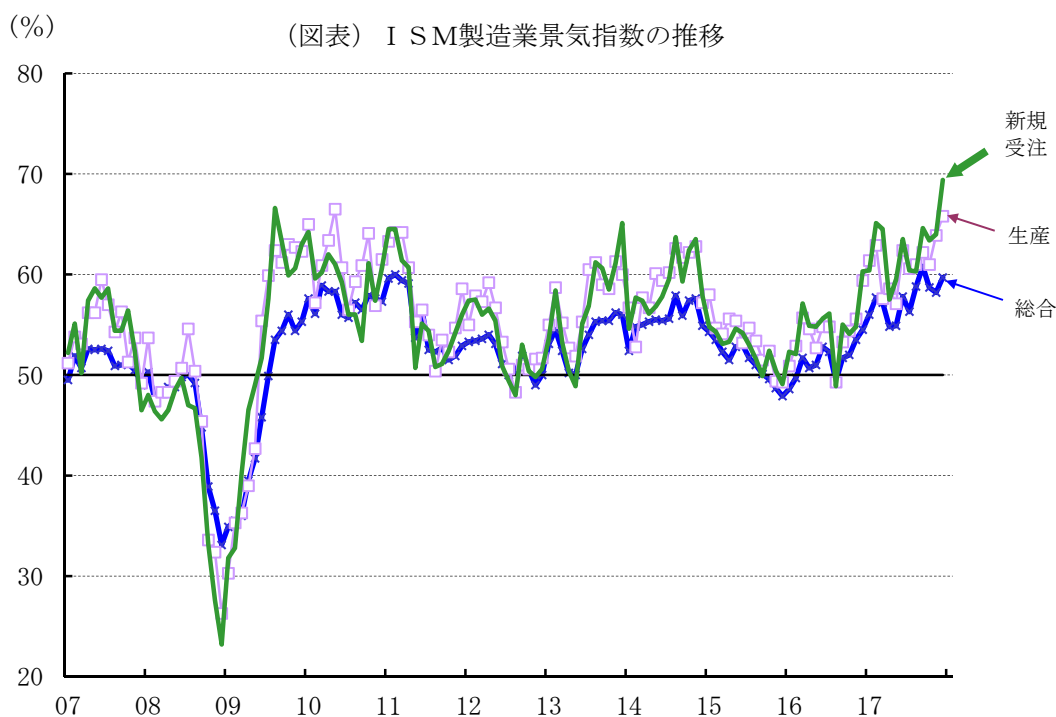
ゴム、印刷・関連サポート活動、食品・飲料・タバコ、電気設備・部品、化学製品、家具・同関連、加工金属、その他製造業、一次金属、アパレル、石油・石炭の16業種と前月の14業種から増加した。多くの業種で拡大しており、製造業は広がりを持って拡大している。縮小した業種数は、木材製品、繊維の2業種（前月2業種）となった。

コンタクト先からの報告は、良好な経済情勢を指摘する内容

コンタクト先からの報告は、12月も前向き内容が目立った。化学製品では、事業は新年に向けて高い水準で推移し、増収によって設備投資と原材料購入が増加していると指摘されたほか、一般機械では、過去2年と比較して欧州や豪州など国際的な販売が強まり、米国の売上高は増加を続け、商品価格へのプレッシャーが見られると報告された。また、その他製造業では、事業の状況は良好で、今年の予測に沿った動きと指摘され、加工金属では、2018年の第1四半期はおそらく2017年第4四半期よりも良いだろうと報告された。さらに、輸送機器では、国内外の売上高が上昇していると指摘された。食品・飲料・タバコでは、経済は強く、事業は堅調だが、2018年の逆風の合図は持続していると報告。紙製品では、すべてのサプライヤーが強い事業活動と有資格者の従業員の獲得の困難さを報告していると指摘された。プラスチック・ゴム製品では、現時点の需要は建設部分において強くなっており、これはハリケーンと必要な再建、新設による影響と考えていると報告された。

製造業景気指数は当面高い水準を維持する公算

今後もドル高や中国経済の減速など需要の伸びを抑制する要因が残存するも、雇用・所得の増加や資産価格の上昇等による個人消費の拡大や、企業業績の改善などに伴う設備投資の増加を背景に、米景気の堅調さが持続するとみられ、ISM製造業景気指数は、当面高い水準を維持すると予想される。



(出所) ISMデータより当社加工

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。